

## 平成 17 年度事業報告

本学会の目的達成のため、定款に定められた次の各事項の事業を行った。

## 1. 下記の研究発表会、学術講演会を開催した。(定款第 5 条一号)

## 1) 研究発表会

- a) 大会：平成 17 年 3 月 31 日(木)～4 月 4 日(月)，於東京海洋大学品川キャンパス（東京都港区）  
大会委員長 松里寿彦  
研究発表 口頭 898 題，ポスター 120 題 計 1,018 題  
シンポジウム 6 件 演題 71 題，ミニシンポジウム 1 件 演題 5 題  
平成 16 年度日本水産学会賞受賞者講演 11 題  
参加者数 1,595 名

## 2) シンポジウム

大会開催時（平成 17 年 3 月 31 日，4 月 4 日，於東京海洋大学品川キャンパス）

- a) 「近縁魚介藻類の種判別および漁獲地域判別技術」演題 13 題  
企画責任者：中添純一・飯田 遥・渡部終五・谷口順彦・福田 裕・中村弘二・齋藤憲治
- b) 「魚肉のゲル形成に伴う水の存在状態と物性の変化」演題 14 題  
企画責任者：伊藤慶明・石崎松一郎・小川廣男・赤羽義章・御木英昌・関 伸夫・渡部終五
- c) 「レジームシフトと水産資源管理」演題 10 題  
企画責任者：青木一郎・二平 章・谷津明彦・山川 卓
- d) 「プリーその資源・生産・消費」演題 11 題  
企画責任者：松山倫也・檜山義明・虫明敬一・濱田英嗣
- e) 「クラゲ類の大量発生とそれらを巡る生態学・生化学・利用学」演題 13 題  
企画責任者：上 真一・上野俊士郎・広海十朗・塩見一雄
- f) 「養殖海域の環境収容力評価の現状と方向」演題 10 題  
(主催：水産環境保全委員会)  
企画責任者：古谷 研・岸 道郎・黒倉 寿・柳 哲雄

## 3) ミニシンポジウム

大会開催時（平成 17 年 4 月 4 日，於東京海洋大学品川キャンパス）

- a) 「ヒラメ・カレイの裏表—異体類の左右性発現の機序とその異常について—」演題 5 題  
企画責任者：青海忠久・田川正朋・有瀧真人

## 4) 各支部の活動

## a) 北海道支部

- ①東北・北海道合同支部大会（平成 17 年 11 月 4 日・5 日），於東北大学大学院農学研究科（宮城県仙台市）  
ミニシンポジウム「温暖化傾向下の東北・北海道の海と漁業」演題 11 題  
一般発表 63 件  
参加者数 シンポジウム 150 名，一般講演 150 名

## b) 東北支部

- ①東北・北海道合同支部大会（平成 17 年 11 月 4 日・5 日），於東北大学大学院農学研究科（宮城県仙台市）  
ミニシンポジウム「温暖化傾向下の東北・北海道の海と漁業」演題 11 題  
一般発表 63 件  
参加者数 シンポジウム 150 名，一般講演 150 名
- ②東北支部例会（平成 18 年 2 月 2 日），於東北大学大学院農学研究科  
特別講演 4 題，参加者数 50 名
- ③支部会報の発行 第 56 号

## c) 関東支部

- ①平成 17 年度日本水産学会大会，平成 17 年 3 月 31 日～4 月 4 日，於東京海洋大学品川キャンパス楽水会館  
担当 ㈱水産総合研究センター中央水産研究所
- ②支部大会（平成 17 年 12 月 18 日），於東京大学農学部弥生講堂（東京都文京区）

シンポジウム「バイオリギング・システムを用いた海洋動物の水中行動と海洋環境研究の現状と展望」演題 11 題

ポスター発表 9 題, 参加者数 83 名

d) 中部支部

①第 1 回支部大会 (平成 17 年 7 月 15 日), 於福井県国際交流会館 (福井県福井市)

ミニシンポジウム「環境変動にともなう水産生物への環境について」演題 4 題

研究発表 15 題, 参加者数 85 名

②第 2 回支部大会 (平成 17 年 12 月 15 日), 於静岡市東部勤労者福祉センター (静岡県静岡市)

ミニシンポジウム「外洋生物の年齢・日齢査定の成長解析」演題 5 題

研究発表 11 題, 参加者数 67 名

e) 近畿支部

①前期例会 (平成 17 年 7 月 2 日), 於大阪市立大学文化交流センター (大阪府大阪市)

シンポジウム「魚類研究を中心としたトランスジェニック技術—基礎から応用へ」演題 8 題

参加者数 47 名

②後期例会 (平成 17 年 12 月 3 日), 於神戸女学院大学ジュリア・ダッドレー記念館 (兵庫県西宮市)

研究発表 19 題, 参加者数 66 名

f) 中国・四国支部

①第 1 回支部例会 (5 月例会) 平成 17 年 5 月 23 日, 於広島大学生物生産学部 (広島県東広島市)

研究発表 5 題, 参加者数 43 名

②第 2 回支部例会 (8 月例会) 平成 17 年 8 月 27 日, 於水産大学校国際交流会館 (山口県下関市)

研究発表 13 題, 参加者数 55 名

③支部大会 (平成 17 年 10 月 22 日・23 日), 於宇和島市総合福祉センター (愛媛県宇和島市)

シンポジウム「中四国における魚病問題」演題 8 題

研究発表 12 題, 参加者数 73 名

④支部会報の発行 4 月, 7 月, 10 月, 1 月 (平成 17 年度 1~4 号)

g) 九州支部

①支部例会 (平成 17 年 10 月 1 日), 於九州大学中央図書館視聴覚ホール (福岡県福岡市)

シンポジウム「夢馳せる水産基礎研究」演題 7 題

参加者数 70 名

②支部大会 (平成 18 年 1 月 28 日), 於九州大学中央図書館視聴覚ホール

研究発表 18 題, 参加者数 94 名

5) 委員会の活動

a) 漁業懇話会委員会

①第 49 回講演会 (平成 17 年 3 月 31 日), 於東京海洋大学品川キャンパス楽水会館

講演「水産における情報の収集とその活用」

演題 7 題, 参加者数 112 名

②第 50 回講演会 (平成 17 年 11 月 11 日・12 日), 於鹿児島大学水産学部講義棟 (鹿児島県鹿児島市)

講演「日本の漁業における混獲投棄量の推定のための全国標準手法による調査」

演題 5 題, 参加者数 106 名

b) 水産利用懇話会委員会

①第 1 回講演会 (平成 17 年 10 月 7 日), 於東京大学農学部弥生講堂

講演「利用加工原料としての水産資源の将来展望」演題 2 題 参加者数 66 名

②第 2 回講演会 (平成 18 年 2 月 17 日), 於東京大学農学部弥生講堂

講演「水産物のトレーサビリティ」演題 2 題 参加者数 72 名

c) 水産増殖懇話会委員会

①第 1 回講演会 (平成 17 年 10 月 15 日), 於長崎大学教育棟 (長崎県長崎市)

講演「長崎県の水産物ブランド化の現状と将来」演題 6 題, 参加者数 76 名

②第 2 回講演会 (平成 18 年 2 月 10 日), 於東京海洋大学品川キャンパス楽水会館

講演「閉鎖循環式養殖システムの最近の進歩」演題 5 題, 参加者数 123 名

d) 水産環境保全委員会

①シンポジウム (平成 17 年 3 月 29 日), 於東京海洋大学品川キャンパス楽水会館

「養殖海域の環境収容力評価の現状と方向」演題 11 題, 参加者数 110 名

②研究会 (平成 17 年 11 月 19 日), 於東京海洋大学品川キャンパス楽水会館

「内湾浅海域浮泥の水産環境保全における重要性」演題 8 題, 参加者数 85 名

③沿岸環境関連学会連絡協議会への参加

第 15 回ジョイントシンポジウム (平成 18 年 3 月 4 日), 於東京海洋大学品川キャンパス楽水会館

「沿岸環境モニタリング, その必要性, 可能性, 緊急性—関連学会からの提言に向けて—」

演題 9 題, 参加者数 90 名

2. 下記の学会誌および学術図書を刊行した。(定款第 5 条二号)

1) 学会誌

a) 日本水産学会誌: 第 71 巻 2 号から第 72 巻 1 号まで計 6 冊

[総ページ 1,142 ページ {論文 64 編 (472 ページ), 短報 7 編 (21 ページ), 総説 12 編 (51 ページ), 企画  
広報担当記事 (292 ページ), その他 (836 ページ)}]

毎号 4,500 部発行

b) Fisheries Science: 第 71 巻 2 号から第 72 巻 1 号まで計 6 冊

[総ページ 1,442 ページ {論文 160 編 (1,260 ページ), 短報 20 編 (59 ページ), 総説 3 編 (35 ページ), そ  
の他 (88 ページ)}]

毎号 5,000 部発行

2) 水産学シリーズ

a) 第 146 号「かまぼこの足形成 II」伊藤慶明・石崎松一郎編, 1,500 部発行

b) 第 147 号「レジームシフトと水産資源管理」青木一郎・二平 章・谷津明彦・山川 卓編, 1,500 部発行

c) 第 148 号「ブルー資源・生産・消費—」松山倫也・檜山義明・虫明敬一・濱田英嗣編, 1,500 部発行

d) 第 149 号「水産物の原料・産地判別」福田 裕・渡部終五・中村弘二編, 1,500 部発行

e) 第 150 号「養殖海域の環境収容力」古谷 研・岸 道郎・黒倉 寿・柳 哲雄編, 1,500 部発行

3) ベルソーブックス

a) 022「よくわかるクジラ論争—捕鯨の未来をひらく」小松正之著, 2,000 部発行

b) 023「さしみの科学」畑江敬子著, 2,000 部発行

3. 関連学会等との連絡および協力を行った。(定款第 5 条三号)

1) 共催

a) 第 42 回理工学における同位元素・放射線研究発表会

主催 日本アイソトープ協会, 共催 応用物理学会, 他 51 学協会

平成 17 年 7 月 6 日~8 日, 於日本青年館 (東京都新宿区)

2) 協賛

a) 第 8 回マリンバイオテクノロジー学会大会

主催 マリンバイオテクノロジー学会, 協賛 日本農芸化学会, 他 13 学協会

平成 17 年 5 月 28 日・29 日, 於熊本県立大学新講義棟 (熊本県熊本市)

b) 2<sup>nd</sup> JOCS-ILSI Japan Joint Symposium 2005「油脂で創る健康」

主催 日本油化学会, 日本国際生命科学協会, 協賛 日本化学会, 他 10 学会

平成 17 年 7 月 1 日・2 日, 於昭和大学上條講堂 (東京都品川区)

c) 平成 17 年度農学系 JABEE 研修会

主催 勸農学会, 他 3 学会, 協賛 砂防学会, 他 29 学協会

平成 17 年 8 月 6 日・7 日, 於東京大学農学部弥生講堂

d) 第 44 回日本油化学会年会

主催 日本油化学会, 協賛 石油学会, 他 6 学協会

平成 17 年 9 月 14 日～16 日，於慶応義塾大学矢上キャンパス（神奈川県横浜市）

- e) 第 36 回海中海底工学フォーラム  
主催 海中海底工学フォーラム運営委員会，協賛 日本船舶海洋工学会，他 6 団体  
平成 17 年 10 月 28 日，於東京大学海洋研究所講堂（東京都中野区）
- f) 第 12 回ヒ素シンポジウム  
主催 日本ヒ素研究会，協賛 日本環境化学会，他 9 学会  
平成 17 年 11 月 15 日・16 日，於岩手県立大学（岩手県岩手郡）
- g) EFAFF2005（第 6 回農林水産環境展）  
主催 農林水産環境展実行委員会，協賛 国際食糧農業協会，他 64 団体  
平成 17 年 11 月 29 日～12 月 2 日，於日本コンベンションセンター（千葉県千葉市）
- h) 第 5 回基準油脂分析試験法セミナー  
主催 日本油化学会，協賛 日本化学会，他 8 学会  
平成 17 年 12 月 8 日・9 日，於東京理科大学森戸記念館（東京都新宿区）

3) 後援

- a) 2005 年花の万博記念「コスモス国際賞」受賞記念講演会・シンポジウム  
主催 財団法人国際花と緑の博覧会記念協会，後援 農林水産省，他 8 団体  
平成 17 年 10 月 17 日および 21 日，於東京農業大学百周年記念講堂（東京都文京区）
- b) 平成 17 年度水資源学シンポジウム  
主催 日本学術会議，他，後援 IWRA 国際水資源学会国内委員会，他 13 団体  
平成 18 年 3 月 7 日，於日本学術会議講堂（東京都港区）

4) 日本学術会議への協力

5) 日本農学会への協力

6) 財団法人農学会への協力

7) 学術の共同研究，情報の交換

8) 海外との学術交流

- a) アメリカ水産学会との交流
  - ①アメリカ水産学会第 135 回年会出席
  - ②平成 17 年度日本水産学会大会招待
- b) 文献交換の斡旋
  - ①日本国内情報の照会に対する回答
  - ②その他
- c) 外国人研究者との交流
- d) その他

4. 下記の研究業績の表彰を行った。（定款第 5 条四号）

1) 日本水産学会賞受賞者の決定

日本水産学会賞	塚本 勝巳	ウナギ回遊生態の解明
	渡部 終五	魚貝類筋肉タンパク質機能の多様性と分子機構
日本水産学会功績賞	大和田紘一	海洋微生物による海洋環境保全に関する一連の研究
	渡辺 悦生	水産分野におけるバイオセンサーの開発と応用に関する一連の研究
水産学進歩賞	梶山 雅秀	サケ科魚類の生活史戦略と個体群動態に関する研究
	金子 豊二	魚類のイオン・浸透圧調節に関する機能形態学的研究
	宮下 和夫	水系での水産脂質の酸化安定性に関する研究
	山下 洋	沿岸性重要魚介類の初期生態の解明および栽培漁業への応用
水産学奨励賞	浦川 秀敏	海洋微生物の分子生態学に関する研究
	萱場 隆昭	マツカワの種苗生産技術に関する研究
	藪 健史	魚類胚におけるストレス誘導性アポトーシスの分子機構に関する研究
	米田 道夫	底魚類の資源生物学的特性に関する研究

水産学技術賞	松田 浩一	イセエビ属幼生の生理生態に基づく飼育技術開発
	吉水 守	魚介類の疾病対策および食品衛生のための海水電解殺菌装置の開発
	渡部 俊広	ズワイガニ類資源の保全型漁業生産技術に関する研究

## 2) 日本水産学会論文賞の決定

- a) Fisheries Science 第 71 巻 1 号 : 141-150  
Age estimation of the wild population of Japanese mantis shrimp *Oratosquilla oratoria* (Crustacea: Stomatopoda) in Tokyo Bay, Japan, using lipofuscin as an age marker  
児玉圭太, 山川 卓, 清水詢道, 青木一郎
  - b) Fisheries Science 第 71 巻 2 号 : 263-270  
A basic experiment of coral culture using sexual reproduction in the open sea  
岡本峰雄, 野島 哲, 古島靖夫, William C. Phoel
  - c) Fisheries Science 第 71 巻 2 号 : 314-319  
Comparison of behavioral responses to a novel environment between three teleosts, bluegill *Lepomis macrochirus*, crucian carp *Carassius langsdorfi*, and goldfish *Carassius auratus*  
吉田将之, 長峰麻妃子, 植松一真
  - d) Fisheries Science 第 71 巻 4 号 : 754-766  
Genetic difference between Ezo-awabi *Haliotis discus hannai* and Kuro-awabi *H. discus discus* populations: Microsatellite-based population analysis in Japanese abalone  
原 素之, 関野正志
  - e) Fisheries Science 第 71 巻 5 号 : 992-1002  
Development of automatic system for monitoring fishing effort in conger-eel tube fishery using radio frequency identification and global positioning system  
内田圭一, 荒井修亮, 守屋和幸, 宮本佳則, 柿原利治, 東海 正
  - f) Fisheries Science 第 71 巻 6 号 : 1295-1303  
Comparison of environmental conditions in two representative oyster farming areas: Hiroshima Bay, western Japan and Oginohama Bay (a branch of Ishinomaki Bay), northern Japan  
神山孝史, 山内洋幸, 岩井拓郎, 花輪正一, 松山幸彦, 有馬郷司, 小谷祐一
  - g) 日本水産学会誌 第 71 巻 5 号 : 746-754  
大村湾産有害渦鞭毛藻 *Heterocapsa circularisquama* の二枚貝への影響と増殖特性  
山砥稔文, 坂口昌生, 松田正彦, 岩永俊介, 岩滝光儀, 松岡数充
- 3) 平成 18 年度日本農学賞受賞候補者の推薦 梶原忠彦「磯の香りに関する研究」
- 4) 勲農学会日本農学進歩賞の推薦  
Marcy N. Wilder「生理化学的研究を基盤としたエビ類の種苗生産・養殖技術の開発」

## 5. その他目的を達成するために必要な事業（定款第 5 条五号）

下記の会議を開催した。

- 1) 通常総会 1 回, 平成 17 年 4 月 2 日, 於東京海洋大学品川キャンパス
  - a) 平成 16 年度事業報告および収支決算の承認
  - b) 財産目録および貸借対照表他の承認
  - c) 細則の一部改正の承認
  - d) 役員（中国・四国支部担当理事）の承認
  - e) 名誉会員の承認
  - f) 除名者の承認
  - g) 平成 17 年度事業計画案および収支予算案の承認
  - h) 平成 18 年度事業計画案および収支予算案の定款第 40 条 2 項による取り扱いの承認
- 2) 評議員会 1 回, 平成 18 年 3 月 29 日, 於高知大学朝倉キャンパス
  - a) 平成 17 年度事業報告案および収支決算案の承認
  - b) 財産目録および貸借対照表案他の承認

- c) 細則の一部改正の承認
  - d) 平成 18 年度役員（理事および監事）候補者の承認
  - e) 名誉会員候補者の承認
  - f) 除名予定者の承認
  - g) 平成 18 年度事業計画案および収支予算案の承認
  - h) 平成 19 年度事業計画案および収支予算案の定款第 40 条 2 項による取り扱いの承認
- 3) 理事会 7 回
- a) 平成 17 年度事業報告案および収支決算案の審議
  - b) 財産目録および貸借対照表案の審議
  - c) 平成 18 年度事業計画案および収支予算案の審議
  - d) 平成 19 年度事業計画案および収支予算案の定款第 40 条 2 項による取り扱いの審議
  - e) 平成 18・19 年度役員（理事および監事）候補者の承認
  - f) 名誉会員候補者の承認
  - g) 細則の一部改正の審議
  - h) 名誉会員追悼文掲載の承認
  - i) 永年会員の認定
  - j) 国際交流委員会規定の制定
  - k) 職員の就業規則の制定
  - l) 会計処理規定の改訂
  - m) 学会賞授賞規定の一部改正の承認
  - n) 支部会計を特別会計として取り扱いの審議
  - o) 平成 19 年度大会開催地の担当支部の審議および承認
  - p) 平成 18・19 年度評議員の支部配分数の決定
  - q) 平成 18・19 年度支部評議員の定数の決定
  - r) 理事会主催シンポジウム開催の審議
  - s) 大会のあり方に関する審議および提案事項の承認
  - t) 国際交流委員会委員の選出
  - u) 各種委員会委員および幹事の承認
  - v) 各種委員会委員長、副委員長および委員の任期に関する審議
  - w) 学会誌「日本水産学会誌」, 「Fisheries Science」の刊行
  - x) 平成 19 年からの Fisheries Science 誌出版社の選定
  - y) 水産学シリーズおよびベルソープックスの刊行
  - z) 研究発表, 学術講演会等の開催
  - A) 研究業績の表彰
  - B) 学術関係の賞等に対する候補者の推薦
  - C) 学会の経理の審議
  - D) 支部補助費配分および見直しの審議
  - E) 消費税申告方法の審議
  - F) 第 5 回世界水産学会議会計処理の審議
  - G) 文部科学省実施検査による対応の審議
  - H) 男女共同参画学協議会連合会参加の審議
  - I) 日本農学会評議員および運営委員の選出
  - J) 日本学術会議協力学術研究財団登録の承認
  - K) 大学評価・学位授与機関専門委員候補者の推薦
  - L) 世界水産学協議会負担金の審議
  - M) 入会者の承認
  - N) 除名予定者の審議
  - O) 関連学会等との連絡および協力

- |                     |   |
|---------------------|---|
| 4) 編集委員会            | 6回  |
| 臨時編集委員会             | 1回  |
| 5) 企画広報委員会          | 6回  |
| 6) 学会賞選考委員会         | 2回  |
| 7) シンポジウム企画委員会      | 4回  |
| シンポジウム企画小委員会（特別委員会） | 1回  |
| 8) 出版委員会            |   |
| 水産学シリーズ担当           | 3回  |
| ベルソープックス担当          | 2回  |
| 9) 漁業懇話会委員会         | 1回  |
| 10) 水産利用懇話会委員会      | 3回  |
| 11) 水産増殖懇話会委員会      | 3回  |
| 12) 水産環境保全委員会       | 2回  |
| 13) 国際交流委員会         | 2回  |
| 14) 選挙管理委員会         | 2回  |
| 15) 水産学教育推進委員会      | 3回  |
| 16) 北海道支部           | 支部総会 1回, 支部評議員会 2回                          |
| 17) 東北支部            | 支部総会 1回, 支部評議員会 2回, 支部幹事会 1回, 評議員・幹事合同会議 1回 |
| 18) 関東支部            | 支部評議員会 1回                                   |
| 19) 中部支部            | 支部総会 1回, 支部評議員会 2回                          |
| 20) 近畿支部            | 支部総会 1回, 支部評議員会 2回                          |
| 21) 中国・四国支部         | 支部総会 1回, 支部評議員会 3回                          |
| 22) 九州支部            | 支部総会 1回, 支部評議員会 3回                          |

## 会 員 数 異 動 状 況 (種別会員数)

種別	平成 16年度末 現在数	平成17年度異動						平成 17年度末 現在数
		入会	種別変更		死亡	退会	除名	
			入	出				
正会員 (内、永年会員)	3,177 ( 43)	143	43 (10)	13 ( 0)	5 (2)	167 ( 0)	27 ( 0)	3,151 ( 51)
団体会員	196	7	0	0	0	9	0	194
賛助会員	81	2	0	0	0	4	0	79
外国会員	120	8	9	5	0	3	18	111
学生会員	270	263	5	41	1	221	0	275
名誉会員	26	0	2	0	3	0	0	25
合 計	3,870	423	59	59	9	404	45	3,835